



「ふれあいの里山」復活大作戦

| | |
|-----|---|
| 日時 | 2017年12月9日(土) 10時00分～15時00分 |
| 場所 | 金ヶ崎公園 |
| 参加者 | エコウイング会員／4名、魚住まち協／6名(内午前のみ2名)、 一般参加者6名(内午前のみ4名)、事務局／2名、計／18名 |

● 午前

今日は、エコウイング会員4名のほか、魚住まちづくり協議会やその他の一般市民の皆様を含め、中学生から高齢者まで総勢18名の皆様に参加いただき、久しぶりににぎやかな活動になりました。

朝10時から公園の会議室でミーティングをした後、全員で初冬の公園内を巡って自然観察をしました。今日は初参加のメンバーが多かったため、いつもの昆虫観察以外に、公園内の里山整備の状況やナラ枯れの問題などについて説明して、エコウイングあかしの「ふれあいの里山」復活の活動を理解をしていただきました。

● 午後

午後は、少しメンバーは減りましたが13名で里山整備の活動に取り組みました。今日は、先月に続き公園西側の雑木林の斜面で、常緑樹の除伐を中心に作業をしました。初参加の中学生の女の子にも、少し大きい木を切ってもらい、「木を伐り倒すことが面白かった」との感想をいただきました。

2時間ほどの作業でしたが、雑木林が見違えるほどすっきりと明るくなりました。全員ケガなどもなく、定刻の午後3時に無事に活動を終わりました。

- 次回の活動は来年(2018年)2月3日(土)の予定です。1月の活動は、新年の行事などにより都合の悪い参加メンバーが多いため、お休みとします。まだ寒い時期と思いますが、たくさんのご参加をお待ちしています。

朝のミーティング(その1)



朝のミーティング(その2)



自然観察(その1)



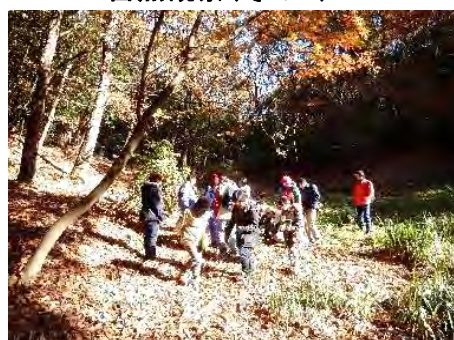
自然観察(その2)



自然観察(その3)



自然観察(その4)



観察会途中での集合写真



里山整備作業(その1)



里山整備作業(その2)



里山整備作業(その3)



里山整備作業(その4)



中学生の女の子も常緑樹の
除伐に挑戦中

作業前の里山の斜面(左)と作業後の斜面(右)
作業後は常緑樹が少ないすっきりした姿に変わりました



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記

金ヶ崎公園も12月に入り、今日は最高気温も10°Cに届かず曇りがちで寒かったため、昆虫はあまり多くは観察できませんでした。それでも時おり日差しが届くと、ムラサキシジミやクロノマチョウなどのチョウのなかまが姿を見せましたが、うまく撮影はできませんでした。

この日に撮影できた昆虫は、成虫ではアオクサカメムシとハラビロカマキリだけでした。そのほかに、落ち葉の下の腐葉土を掘るとカブトムシの幼虫が出てきました。

アオクサカメムシ



ハラビロカマキリ



カブトムシの幼虫



野鳥では、冬鳥のジョウビタキが姿を見せたほか、金ヶ崎公園常連のメジロやコゲラ、カワラヒワなどを観察しました。

そのほかの生き物では、ふもとの北浦池で外来種のヌートリアが6匹の子供を連れて泳いでいるのを確認しました。この池で繁殖したものと思われます。

ジョウビタキ(メス)



コゲラ



カワラヒワ



メジロ



6匹の子供を連れて北浦池を泳ぐヌートリア

